大地震に備えて訓練を実施しました。

訓練の様子

9月3日（木）に新潟国道事務所で大地震を想定した情報伝達訓練を行いました。

■被災想定
・秋田県沖、山形県沖、新潟県北部沖を震源とする最大震度7の三連動地震が発生し、新潟市内に津波が到達

■訓練内容
・国道7号競馬場IC～国道8号黒埼IC間で緊急車両以外の通行を規制、新潟市内の道路啓開（※）を想定した情報伝達
・災害情報システムの操作
・4元中継によるテレビ会議
（北陸地方整備局、信濃川下流河川事務所、阿賀野川河川事務所、新潟国道事務所）

訓練における課題、問題点などの改善を行い、万一の災害に備えていきます。

※道路啓開とは、緊急車両等が通行するため、1車線でも通れる様に早急に最低限のがれき処理等を行うことにより、救援ルートを開けることです。

関連URL：記者発表資料
http://www.hrr.mlit.go.jp/press/2015/09/150901kikakubu2.pdf

万代長嶺小学校の生徒が萬代橋の維持管理について学びました。

授業の様子①

授業の様子②

9月4日（金）、新潟市立万代長嶺小学校4年生43名に対し萬代橋について新潟国道事務所の職員が講師となり出前授業を行いました。

萬代橋の「用」「強」「美」について説明した後、萬代橋を長く使い続けるために行っている日常管理、定期的な点検や補修の方法を作業状況の写真をまじえながら説明しました。

さらに、萬代橋を使った様々なイベントを紹介して、萬代橋が交流の場にもなっていることも説明しました。
生徒の皆さんは講師の説明を熱心に聞いて、積極的に質問をしていました。

新潟国道事務所は、これからも国の重要文化財であり、新潟市のシンボルでもある萬代橋を地域と共に大切に守っていきます。

また、当事務所では総合学習や体験学習のお手伝いをしております。お気軽にお問い合わせ下さい。

関連URL：記者発表資料
http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/150902bandainagamine4%20.pdf

地元の方々が新潟バイパスについて学びました

9月4日（金）、鳥屋野地区公民館で地元の方々約30名に対し、新潟バイパスについて新潟国道事務所の職員が講師となり講義を行いました。
この講義は、鳥屋野地区公民館が企画した「自然と環境講座」の第1回目として行われました。受講者は参加を希望した新潟市内在住の方々です。
新潟バイパスが建設された経緯や特色・現況、航空写真などを使用して新潟バイパスとともに発展する周辺地域の様子について講義しました。
受講者のみなさんは、非常に興味深い様子で講義を受けられ、日頃日常的に使っている新潟バイパスについてより深く理解をされた様子でした。

新潟国道事務所は、これからもみなさんが道路を安全・安心に使用できるようにしていきます。

講義の様子①

講義の様子②

平成27年度新潟国道事務所建設労働災害防止大会を開催しました

安全管理優良表彰の受賞者紹介

安全宣言　丸運建設㈱　現場代理人

9月28日（月）、平成27年度 「新潟国道事務所建設労働災害防止大会」を国土交通省北陸地方整備局の「建設労働災害防止週間」の一環として、約200名の参加により、開催しました。
大会には、来賓として新潟労働基準監督署と新潟東警察署を招き、「労働災害及び交通事故」の防止について講演をしていただきました。
また、平成27年度安全管理優良表彰が9月17日に北陸地方整備局で実施され、当事務所関係では、東亜道路工業(株)が受賞され、当日、表彰のお披露目が行われ、会場より盛大な拍手が送られました。
受講者のみなさんは、非常に興味深い様子で講義を受けられ、日頃日常的に使っている新潟バイパスについてより深く理解をされた様子でした。
あわせて、受賞者から、安全対策事例の発表をしていただき、各工事現場の安全への取り組みの参考となりました。
最後に、参加者全員で、「安全重点目標及び安全宣言」を行い、建設労働災害防止大会を終了しました。

関連URL：記者発表資料
http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/150924h27kenseturoudousaigaibousitaikai.pdf